

マザー・テレサの足跡紹介

会津中央病院で写真展

8日まで



国分実行委員長④の説明を受け、マザー・テレサの活動の足跡を紹介する写真に見入る鳩山元首相(右から2人目)

インドを拠点に弱者への奉仕活動を続け、ノーベル平和賞を受賞したマザー・テレサ(1910～97年)の足跡を紹介する写真展「愛を伝える マザー・テレサ展」は5日、会津若松市の温知会会津中央病院で始まった。8日まで。

NPO法人フレンドシップ(東京、池田佳代理事長)の主催。マザー・テレサの慈愛に満ちた表情を収めた写真パネルや数々の名言を紹介し、東日本大震災と東京電力福島第一原発事故からの復興に取り組む県民を励まそうと企画された。

同病院内の1階と地下1階に約120点の写真パネル

ルが並んだ。通称「死を待つ人の家」で患者を励ます様子や、孤児と触れ合う姿を収めた写真を、名言の数々とともに紹介している。

鳩山元首相が訪問

初日は鳩山由紀夫元首相

が会場を訪れた。喜幸さんが全国巡回の同展の運営に携わっており、鳩山氏は同展会津若松展実行委員長の国分明広さんの説明を受けながら作品を鑑賞した。

入場無料。時間は午前9

時～午後4時。